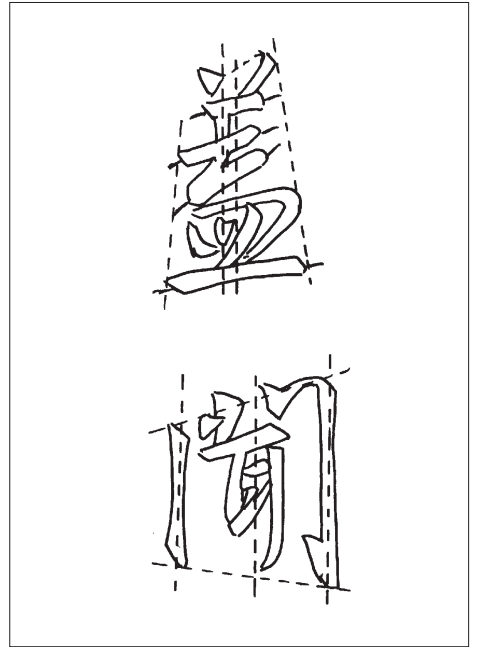


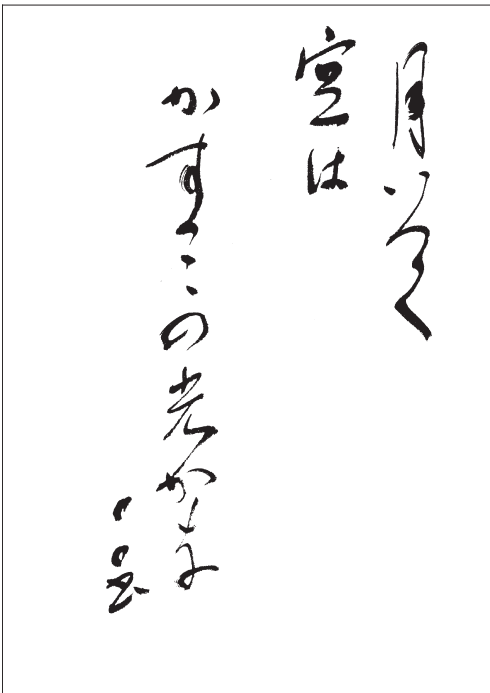
◆半紙一行たて書きに臨書して下さい。出品料430円



集字聖教序・王羲之

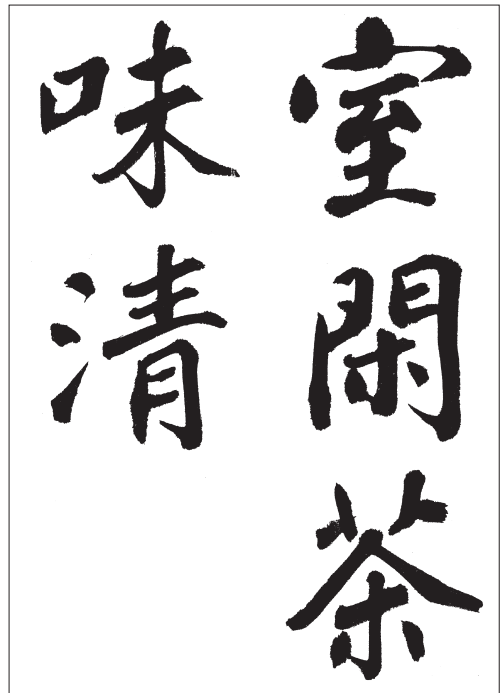
- 1、字句＝蓋聞
- 2、形式＝半紙タテ使用。中央に「蓋聞」と臨書し、左余白に「〇〇臨」と調和を工夫して書き入れる。
- 3、概観＝王羲之の行書作は、蘭亭序・集字聖教序・興福寺断碑があるが、聖教序と興福寺断碑は後世の人が王羲之の文字を集めてつくられた碑であり、前者は集字聖教序と呼ばれています。王羲之の行書の代表作が今まで一度も臨書部で取り上げられていないのは驚きでした。集字聖教序は、弘福寺の僧懷仁が王羲之の真蹟から集字した労作で、蘭亭序と共に行書の双璧とされています。集字聖教序は、太宗の思いにより集められた王羲之の真蹟により、二十年程の日時を要したといわれています。
- 4、各字のポイント
 - 蓋 四画目の縦画は、一・二・三画目を見ると中心より左に書し、五・六画目の横画もこの縦画に合わせるように中心より左に。しかし、「皿」は中心に書かれている。しかも、不自然さは感じない。これは、五・六画目の横画が右肩上がりで書かれている（特に六画目は極端に上がっている）為と思われる。
 - 聞 門構えの長縦画二本は垂直に。上部は右肩上がり、裾は右肩下がりにしバランスを取る。「耳」の一画目は左に寄り、二画目は左に開かない。三・四・五画の横画を順に書し、六画目は最終画。

昇試第三部（漢字・かな）予告 (三月二十二日締切)



平岡華雪先生書 月いづく空はかすみの光かな(肖柏)

訳：静かな部屋に茶の香が清らかにただよう。



平岡華雪先生書 室閑に茶味清し。(周天度)

A
鈴木静村先生書

松高白鶴眠(李白)
松高うして白鶴眠る。



B
高橋香樹会长書

松 偏からの意連は切れても可。公 上部が大。高 この梯子形が古典に多い。腰は大きく力強く。中の「口」キリッと締める。白 渴筆を強く上あがりしない。鶴 偏の形は古典に十種類以上。字典を参考に。眠 末画の点。戈法の突き出しは古典には多い。



五字一行書の課題。最初は行草でと思い書いたが、なかなか納得いくものが書けず、楷書で書くことにした。「鶴」は古典に「鶴」がありこれを採用。「眠」は最後に点を打つものがないものあり。落款は、「于湖畔堂書香樹」と堂号(自分の書斎や家屋にちなんでつける)を書き入れることにより、一行書などの場合、雅号だけよりは収まりがよいように思う。私の堂号ではなく、各自考えて書き入れるように。
訳: 松の木は高く、その上に白い鶴が眠っていた。

予告 昇試第一部漢字(三月二十二日締切)

雪花被岸中流黒

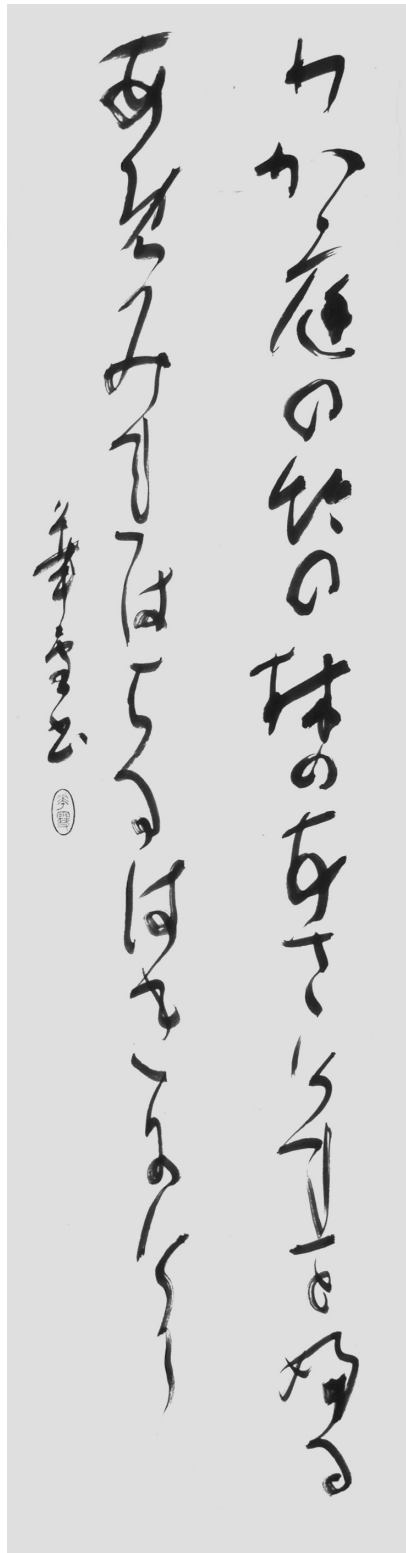
雲氣涵山衆壑虚(張公薬)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品(バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

A

平岡華雪先生書

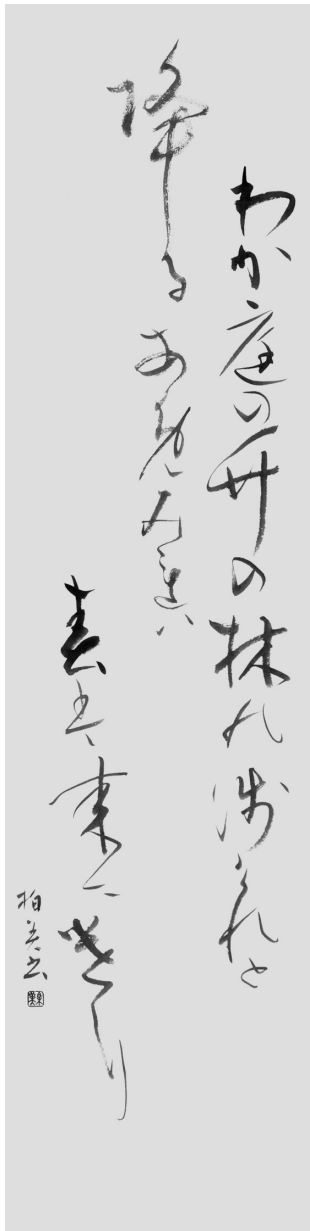
わが庭にの竹の林の浅けれど降る雨見れば春は来にけり(若山牧水)
わか庭の竹の林のあさ介連けと婦るあ免み連めは者はるははきにるにけり



B

石島柏美先生書

わか庭の竹の林能浅介れと降るあ免み連八春盤来二遣り



学び方

牧水の静かで伸びやかな歌を、歌意をそのまま素直に書きたいと思いましたが、そのため難しい変体仮名は避け、連綿を少なくして全体として平明な作品に仕上げました。それだけに三行のバランス、墨の潤濁、線の強弱、筆圧や順・逆筆の筆の使い方などで変化を表出することが大切です。一句目「わか庭の」は小さ目に字間を詰めて書き出し、二句目の「竹」は少し長目、「林」は横に広げて書きます。二行目の「降るあ免」は渴筆でゆっくりと大き目に。この時、一行目の「わか庭の」の布置や字間の長短を意識しながら行の響き合いに注意を払います。終句「春盤来二遣り」で墨を入れ引き締めますが、行の流れを少しずつ右に寄せて収筆します。

若山牧水 明治・大正期の歌人。宮崎県生まれ。「海の声」・「別離」等の歌集をはじめ歌雑誌「創作」を主宰。浪漫的心情を朗々とした調べにのせたところに特色があったが、次第に自然歌人としての本来の道を見出し、酒と旅のうちに生涯を終えた。「くろ土」・「山桜の歌」に円熟の境地を見ることが出来る。

予告 昇試第一部かな(三月二十二日締切)

春の夜の夢ばかりなる手枕にかひなく立たむ名こそ惜しけれ(百人一首 周防内侍)

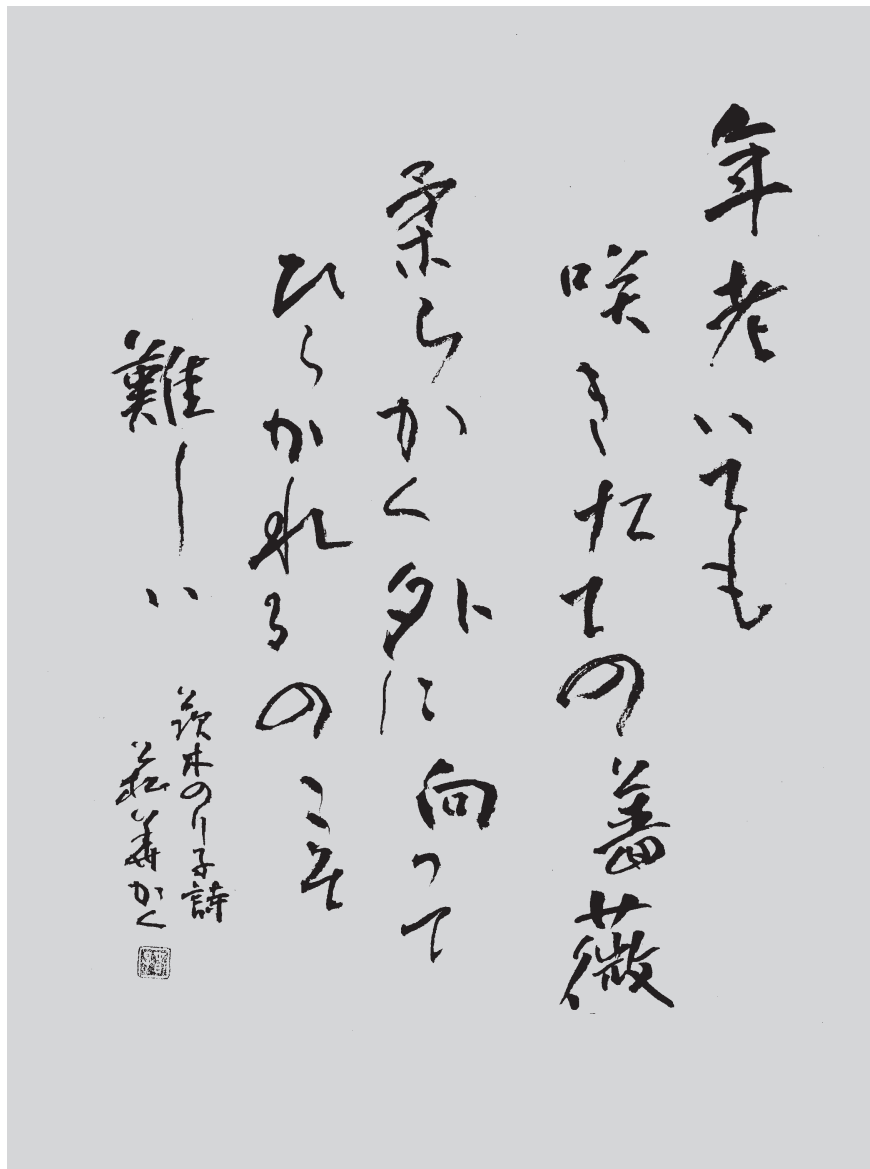
- ◆注意 ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品(バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

小暮 菘華 先生 書

年老いても咲きたての薔薇
柔らかく外に向って
ひらかれるのこそ
難しい

茨木のり子「汲む」より

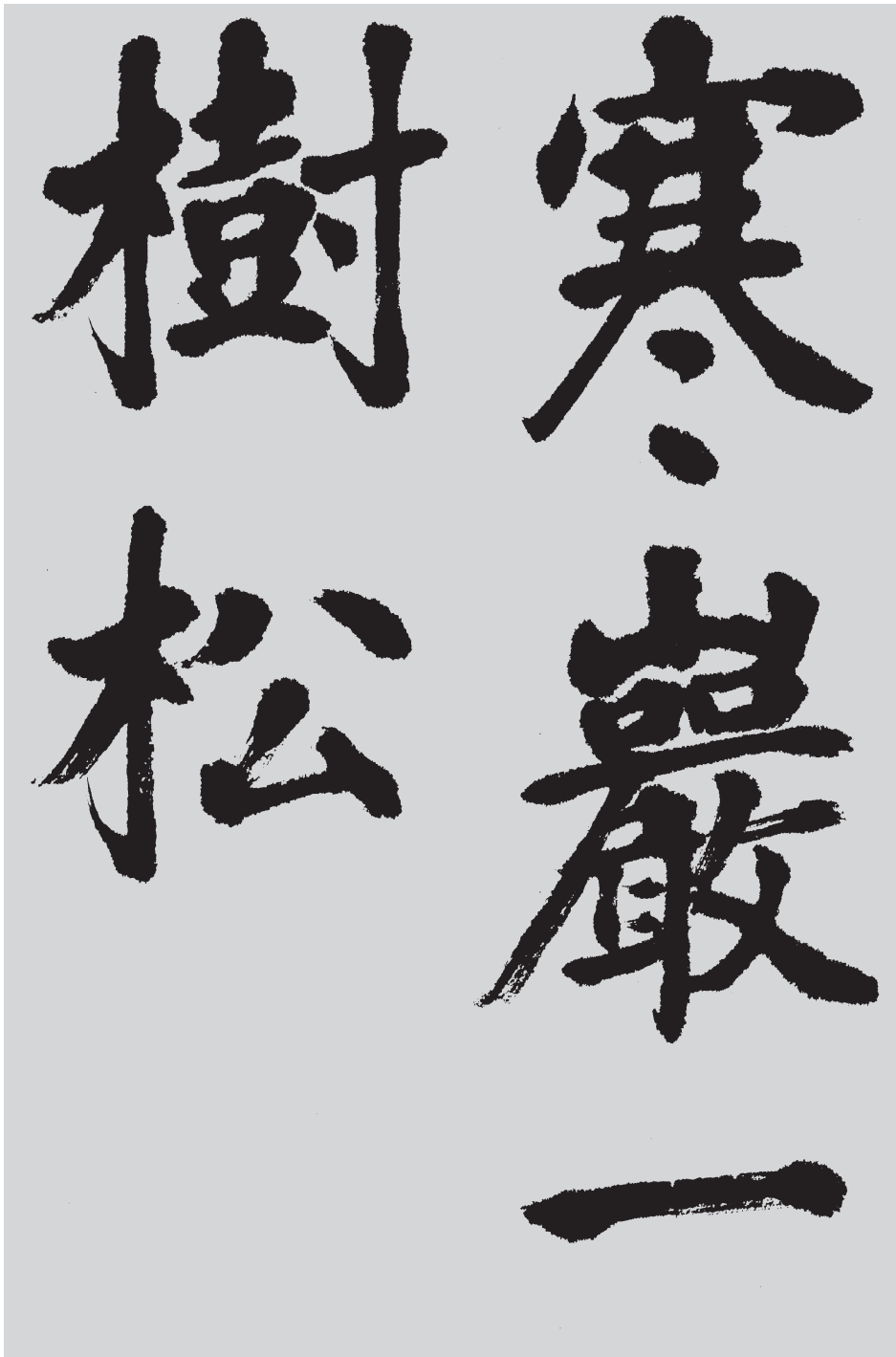
- 。十分に墨を含ませて書き出し
- 。「薔薇」「外」で墨継ぎ
- 。上下が揃わないよう注意する
- 。字数が多いので平板にならないように
- 。行の傾きに留意



茨木のり子（一九二六～二〇〇六）
本名三浦のり子。
大阪生まれ。戦後を代表する詩人。
「権（同人誌）」創刊に川崎洋と共に携わる。同人に谷川俊太郎、舟岡遊次郎、吉野弘など。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙（3×4 cm位）に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料540円。

- ①バーコード券右空欄に漢かと記入 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新



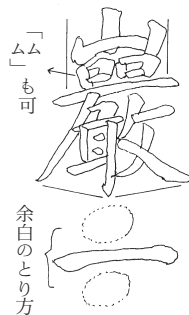
平岡華雪先生書

寒巖一樹の松(張憲)

訳: 冬の岩の上に一本の松は翠色深く秀でている。

〈余白のとり方に〉

最少画数「一」の配字はむずかしい。特に多画の「巖」との配合は、「寒」を含めての右行での注目点。「一」の大きさにも工夫を。各人の「力」の見せどころ。



◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。


- ①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

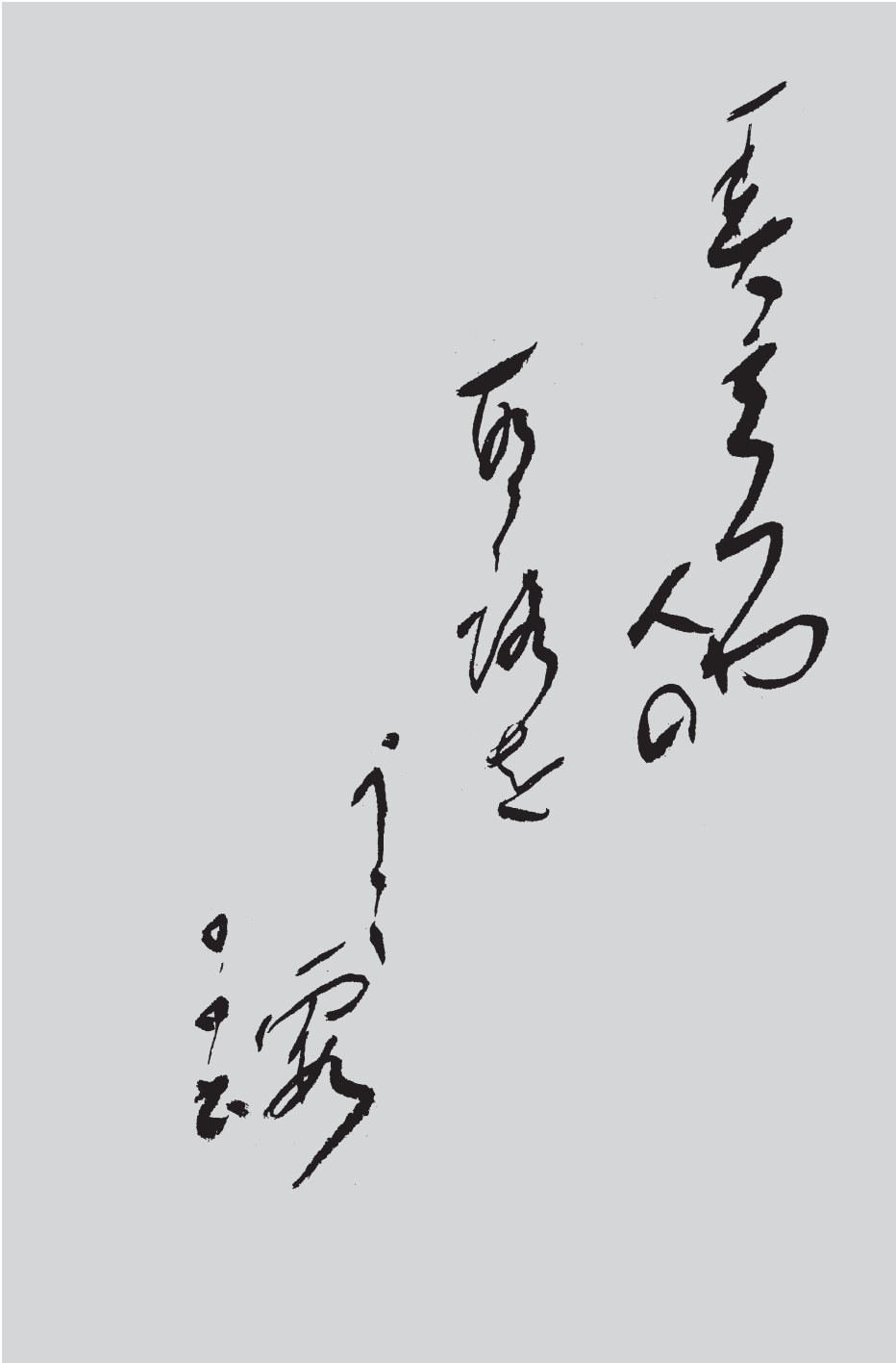
平岡華雪先生書

春立つや人の心をうご霞 (高瀬梅盛)

春立つや人の故、路をうご霞

へ「連綿」一「か所」

「春立つや」の「立つや」の連綿、 この受け用筆は今までに採り上げてきましたので、復習的に習熟して下さい。「故、路を」踊り字につづいて「路」さらに「を」への四字連綿、初歩段階者にはむずかしい部分。この流れのリズムが把握できればと思います。



予告 昇試第二部かな (三月二十二日締切)

春日さす夕紅のいろはえて山下照らす岩つゝじかな (金葉和歌集)

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

- ①かな部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

梅林寺爽葉先生書

漁歌激楚辭（孟浩然）
漁歌楚辭を激す

訳：漁夫たちの舟歌は、古い楚の歌謡を呼びおこす。

漁歌激楚辭
漁歌激楚辭
漁歌激楚辭

爽葉書



予告 昇試第一部漢字（三月二十二日締切）

渚宮何處是（孟浩然）

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円。

湯澤春翠先生書

川上香蓉先生書

課題2 (初段階以下)

課題1 (初段階以上)

本とつうのはモノではあるが、同時に
言葉の電流のようなものであり、
精神内容の貯水池でもある。

岸べりの葦は、季節がくると、下
半分は黒緑色の葉をみせて、上半分
灰色のシベを黒い杉木立を背にして
煙ったようにつき出していた。

課題1 (初段階以上)

岸べりの葦は、季節がくると、下半分は黒緑色の葉をみせて、上半分灰色のシベを黒い杉木立を背にして煙ったようにつき出していた。
「雁の寺」水上 勉

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位に)次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (5) 会員は無料・会員外は四三〇円

課題2 (初段階以下)

本というのものはモノではあるが、同時に言葉の電流のようなものであり、精神内容の貯水池でもある。

「京都で、本さがし」高橋英夫